（様式４０－１）

令和　　年　　月　　日

日本下水道事業団　東日本本部長　渡辺　志津男　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　名(代表者)　　　　　　　　　　印

技 術 提 案 回 答 書

工事名　　岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業

総合評価に係る技術提案（簡易な技術提案を含む）については、以下のとおりとします。技術提案が適正と認められた内容については、技術提案書に基づいて施工します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 技術提案項目 | 提案内容 |
| ① | ライフサイクルコスト削減手法に関する技術提案 | 様式40-2に記載 |
| ② | 建設時における地元活用の提案 | 様式40-3に記載 |
| ③ | 施工時における既設設備への配慮、及び施工の安全対策に関する技術提案 | 様式40-4に記載 |
| ④ | 運営の安定性に関する技術提案 | 様式40-5に記載 |
| ⑤ | 臭気に関する技術提案 | 様式40-6に記載 |
| ⑥ | 肥料化製品の販売促進及びイメージ認知度向上に関する提案 | 様式40-7に記載 |

注１）提案内容の欄は、施工方法等の技術提案を求めた場合には技術提案の概要を、数値等を求めた場合はその提案値を簡潔に記載する。

　　注２）提案内容の具体的事項については、様式40-2～7に記載する。

　　注３）本様式の電子データ（Microsoft　Word2016形式以下又はExcel2016形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。

（様式４０－２）

技術提案書①

工事名　　岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

技術提案項目：　［①ライフサイクルコスト削減手法に関する技術提案］

本提案は各評価内容の2項目とし提案数を超えた場合には、すべての提案を評価対象外とする。

また、各項目において同種内容が提案された場合は、重複して評価は行わないものとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－１ | 施設の設計又は建設時におけるコスト削減に関する提案 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－２ | 施設の維持管理・運営時に寄与する施設設計におけるコスト削減に関する提案 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

注１）技術提案１つ毎に本様式Ａ４サイズ片面１枚以内を標準とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする（ゴシック又は明朝体）。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、技術提案毎に片面１枚以内とする。

　　　　ただし、根拠数値等の計算過程等を記載する場合は、技術提案毎に片面２枚以内とすることができる（参考資料は原則１枚以内であり、根拠数値等の計算過程の記載のみであれば、追加で片面１枚以内添付可）。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注８）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注９）本様式の電子データ（Microsoft　Word2016形式以下又はExcel2016形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。

（様式４０－３）

技術提案書②

工事名　　岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

技術提案項目：　［②建設時における地元活用の提案］

本提案は各評価内容の1項目とし提案数を超えた場合には、すべての提案を評価対象外とする。

また、各項目において同種内容が提案された場合は、重複して評価は行わないものとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－１ | 建設時における地元活用の提案 | |
| 技術提案内容 | 建設工事時における建設共同企業体の代表者または構成員企業体における県内企業建設工事費合計額 | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［別添様式40-3-1により算出された県内企業建設工事費割合を記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［別添様式40-3-1を添付］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［工事終了時に請負金額等が分かる契約書等を提出］ | |

注１）技術提案１つ毎に本様式Ａ４サイズ片面１枚以内を標準とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする（ゴシック又は明朝体）。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、技術提案毎に片面１枚以内とする。

　　　　ただし、根拠数値等の計算過程等を記載する場合は、技術提案毎に片面２枚以内とすることができる（参考資料は原則１枚以内であり、根拠数値等の計算過程の記載のみであれば、追加で片面１枚以内添付可）。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注８）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注９）本様式の電子データ（Microsoft　Word2016形式以下又はExcel2016形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。



（様式４０－４）

技術提案書③

工事名　　岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

技術提案項目：　［③施工時における既設設備への配慮、及び施工の安全対策に関する技術提案］

本提案は各評価内容の2項目とし提案数を超えた場合には、すべての提案を評価対象外とする。

また、各項目において同種内容が提案された場合は、重複して評価は行わないものとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－１ | 施設運転継続若しくは維持管理従事者の安全に配慮した安全対策  （④運営の安定性に関する技術提案とは異なる提案） | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－２ | 安全な維持管理作業動線確保に作配慮した施工計画 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

注１）技術提案１つ毎に本様式Ａ４サイズ片面１枚以内を標準とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする（ゴシック又は明朝体）。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、技術提案毎に片面１枚以内とする。

　　　　ただし、根拠数値等の計算過程等を記載する場合は、技術提案毎に片面２枚以内とすることができる（参考資料は原則１枚以内であり、根拠数値等の計算過程の記載のみであれば、追加で片面１枚以内添付可）。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注８）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注９）本様式の電子データ（Microsoft　Word2016形式以下又はExcel2016形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。

（様式４０－５）

技術提案書④

工事名　　岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

技術提案項目：　［④運営の安定性に関する技術提案］

本提案は各評価内容の2項目とし提案数を超えた場合には、すべての提案を評価対象外とする。

また、各項目において同種内容が提案された場合は、重複して評価は行わないものとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－１ | 施設の安定的な運転に対する創意工夫 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－２ | 汚泥性状の変動に対し安定的に肥料を生成するための創意工夫 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

注１）技術提案１つ毎に本様式Ａ４サイズ片面１枚以内を標準とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする（ゴシック又は明朝体）。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、技術提案毎に片面１枚以内とする。

　　　　ただし、根拠数値等の計算過程等を記載する場合は、技術提案毎に片面２枚以内とすることができる（参考資料は原則１枚以内であり、根拠数値等の計算過程の記載のみであれば、追加で片面１枚以内添付可）。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注８）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注９）本様式の電子データ（Microsoft　Word2016形式以下又はExcel2016形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。

（様式４０－６）

技術提案書⑤

工事名　　岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

技術提案項目：　［⑤臭気に関する技術提案］

本提案は各評価内容の2項目とし提案数を超えた場合には、すべての提案を評価対象外とする。

また、各項目において同種内容が提案された場合は、重複して評価は行わないものとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－１ | 汚泥有効利用施設の通常運転時の臭気漏洩監視方法及び漏洩リスク発生時の対応手順に関する提案 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－２ | 脱水汚泥の搬出時・修繕等の施設休止時・緊急停止時の臭気漏洩監視方法及び漏洩リスク発生時の対応手順に関する提案 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

注１）技術提案１つ毎に本様式Ａ４サイズ片面１枚以内を標準とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする（ゴシック又は明朝体）。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、技術提案毎に片面１枚以内とする。

　　　　ただし、根拠数値等の計算過程等を記載する場合は、技術提案毎に片面２枚以内とすることができる（参考資料は原則１枚以内であり、根拠数値等の計算過程の記載のみであれば、追加で片面１枚以内添付可）。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注８）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注９）本様式の電子データ（Microsoft　Word2016形式以下又はExcel2016形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。

（様式４０－７）

技術提案書⑥

工事名　　岩木川流域下水道岩木川浄化センター汚泥有効利用施設整備運営事業

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名

技術提案項目：　［⑥肥料化製品の販売促進及びイメージ認知度向上に関する提案］

本提案は各評価内容の3項目とし提案数を超えた場合には、すべての提案を評価対象外とする。

また、各項目において同種内容が提案された場合は、重複して評価は行わないものとする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－１ | 岩木川浄化センター内の肥料化製品譲渡施設における販売促進に関する提案 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－２ | 県内における肥料化製品の販売促進に関する提案 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価内容－３ | 下水汚泥肥料のイメージ向上に繋がる取組の提案 | |
| 技術提案内容 | ［提案内容を簡潔に記載］ | 参考資料番号  （　　　　） |
| 技術提案内容の効果 | ［標準案に比べ提案内容の効果・優位性・有効性等を具体的かつ簡素に記載］ | |
| 技術提案内容の  効果の根拠 | ［具体的な手法及び技術的な根拠を具体的かつ簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |
| 技術提案内容の  履行確認方法 | ［提案された内容の履行確認方法を簡潔に記載］  ［必要に応じて、添付資料として試験成績表・カタログ、文献、図面等を別途添付する］ | |

注１）技術提案１つ毎に本様式Ａ４サイズ片面１枚以内を標準とする。なお、文字サイズについては10.5又は11ポイントを標準とする（ゴシック又は明朝体）。

注２）参考資料を添付する場合は、以下に示す項目に留意すること。

・参考資料は、技術提案書を補完する図表、写真、文献の抜粋等のみを記載すること。

・Ａ４サイズにて明確に判読できるものとし、技術提案毎に片面１枚以内とする。

　　　　ただし、根拠数値等の計算過程等を記載する場合は、技術提案毎に片面２枚以内とすることができる（参考資料は原則１枚以内であり、根拠数値等の計算過程の記載のみであれば、追加で片面１枚以内添付可）。

注３）提案内容は、具体的な根拠を伴い担保・確認ができるものとし、一般仕様書や特記仕様書による」などの抽象的な内容（「丁寧に施工する」等）の場合は評価しない。

注４）単に「品質管理の頻度を増加させる」、「出来形の基準値を厳しくする」等の品質向上に繋がらない技術提案は評価しない。

注５）「協議する」、「計画する」、「提案する」、「検討する」、「思われる」、「目標とする」は施工の実施を担保するものではないので加点評価対象としない。

注６）出来形（寸法等）管理手法は、規格値とおり仕上がっているのが当然である為、加点評価対象としない。

注７）技術提案内容に自ら標題等を設けることにより、各々有効・無効の評価が必要な複数項目の提案をその標題等に関連した１項目として提案しないこと。

注８）提案項目数の上限を超える提案を行った場合は、その評価項目の技術提案の全てを加点評価対象としない。

注９）本様式の電子データ（Microsoft　Word2016形式以下又はExcel2016形式以下で作成）を添付すること（CD-R）。